

月刊

みやぎのボランティア・市民活動情報誌

2011

5月号

Vol.168

毎月1日発行

ゆるる

杜の伝言板

特集 復興への道

■みやぎNPOプラザ/みやぎNPOプラザ 指定管理第3期スタート!
~今まで同様、よろしくお願いします~





▲地域塾

りやまめ窓の外を見つめながら、『これからどうなるのだろうか』という恐怖に怯えています。

私は、リーダーとしてどうあるべきか悩んだ末に、次のような話しを切り出しました。『とにかく、今できることを考えよう。そして、今必要な情報を集めて、発信しよう。オレンジは、こんなことで終わらないし、終わらせない』と、声を振り絞りました。

次の日から、私たちはすぐに行動を開始しました。最優先で利用児・者の安否確認に走り、また非常用電源と携帯電話を使ってとにかく県外の関係者に連絡を取り続けました。混線の中つながら相手には状況を説明し、ブログを操作してもらって情報を発信。そのおかげで多くの方々から迅速かつ適切な救援物資が寄せられました。

一方で、避難所や各家庭を回って感じたのは、障がいを持つ子供たちの深刻な実態でした。『避難所になじ

四月十七日。私たちは復興を祈念し『共に創ろう気仙沼!!』と題したフリーマーケットを開催しました。おかげさまで二百名以上の来場をいただき、久米繊維工業(東京都墨田区)との協賛でオリジナルTシャツの販売や、お菓子の袋詰め無料配布などを実施しました。そして『共に創ろう気仙沼!!』を合言葉に、街頭で活動支援金を募ったところ、多くの皆様より賛同をいただき、一日で五万円を超えるご厚意が寄せられました。

またサブライズゲストとしてTJBEの皆様が応援に駆け付けてくださるなど、勇気と感動あふれる一日となりました。

スタッフの中には、家族や自宅を失ってしまった者もいます。しかしその悲しみを乗り越え、私のビジョンに全員が共感してくれました。『気

● 共に創ろう気仙沼!! ●

めず、脱走してしまつたので、車中泊をしている『不安からパニックがおさまらない言葉がなくなりそうなのに、燃料がなくて仙台の病院にいけない』という声。私たちは覚悟を決め、最低限のライフラインが確保され次第、早急に活動を再開することを決めました。そして被災から十一日後には、私の自宅を拠点に、地域塾(児童・アイサービス、就労支援、兄弟養育支援)を再開させました。



▲地震直後の気仙沼

復興への道

東日本大震災から五十日が過ぎ、被災地に設けられた避難所も、他の地域に集団で避難したり、仮設住宅に移ったりと、徐々に避難所自体の縮小や集約がすすんでいます。

しかし、郷土を愛し、被災地を離れられない住民たちにとって、水や食料、電気など、不便であっても避難所での生活は続きます。それを県内外から現地の入り支援するボランティアの活動が支えます。全国から多くのNGOやNPOが駆けつけている中、地元の人々も地域のみんなを支えたい。足元の支援活動を続けています。

また、被災地であっても、団体が目指す活動を求められず、すでに活動を再開しているNPOも出てきました。

杜の伝言板ゆるるは、これから先、宮城県の被災地が、地域の人々が力を合わせ、その地域の再生のために活動を再開、あるいは生み出していく姿を追いながら復興へ歩みだす道を伝えていきます。

今回は、東北の気仙沼、大崎、石巻から届いた情報と、県南の白石、そして仙台の動きを取材により届けます。

共に創ろう気仙沼!!

特定非営利活動法人
ネットワークオレンジ
代表理事 小野寺美厚

『あと三分で津波が来るぞー』早く高台へ逃げる！『また家に人が...』大きな声と悲鳴が飛び交い、血相を変え走って逃げる人々。停電で信号機が止まり道路は大渋滞。それから間もなく、土煙を上げながら、どす黒い濁流が流れ込んで来ました。

私たちが活動拠点としていた気仙沼市八日町と南町は、あつという間に津波に飲み込まれ、思い出の詰まった事業所、大好きな景色、そして多くの尊い命が、一瞬にして奪われてしまいました。

地震が発生した二時四十六分は、



▲南町オレンジ



▲街頭募金

仙沼みらい創造塾は、みんなの想いで創られる活動です。人任せでは何も変わらない。私たちの“街”を一緒に創っていきましょう！

【連絡先】
NPO法人ネットワークオレンジ
〒九八八-0087
気仙沼市瀬の入五番二十二号
TEL・FAX: 0226 (22) 1669
mail: network_orange@opera.net



▲八日町オレンジ

運営する児童デイサービス・オレンジキッズの送迎の時間帯で、一部のスタッフと数名の児童が市内に分散していました。携帯電話は途絶え、連絡が取れない中、ラジオからは『沿岸部が数キロ内地まで壊滅的な被害』『重油タンクが爆発し、大震災が発生』と、目を疑う情報ばかりが流れてきます。

夕方からは雪が降り、あたりは火災の黒煙が立ち込めます。空が赤黒く染まる中、スタッフ全員の無事が確認できた時は、『よくぞ生き残ってくれた』と、ただただ涙があふれました。

● とにかく情報発信。そして地域塾を再開 ●

その日の夜、私たちは余震が続く真っ暗闇の中、消防のサイレンが鳴

7つのプロジェクト 〜JUNGO通った支援活動を〜

NPO法人 田んぼ
理事長 岩淵成紀

NPO法人田んぼは、自然学校や環境教育の関連企業・団体約百団体とアウトドア愛好者などで作る、RQ市民災害救援センターの小規模のサテライト支援センターとして支援物資をセンターに届けたり、直接被災者に軽トラックを使って支援物資を届けたりしています。

現地へ行く前に報道で大量に目にした「瓦礫の山」。しかし、実際にその「瓦礫の山」を歩いてみると、結婚式の写真があったり、病院の診察券があったり、ランドセルがあったり。それは「瓦礫の山」ではなく、当地の人たちの「生活の痕跡」なのだということを実感します。被災地を遠景からだけ眺めていると、そのことに気付かれません。ひとつひとつが、それが全体になるのであって、全体の中からは暮らしは見えないのです。

● 存在の証を求めて ●

南三陸町の土台だけが残った家の前で、懐かしやかな暮らしの大切な

痕跡を懸命に探している親子に違い、話を聞きました。最初、親子はなんとも家の周りを行き来し、土台の上を器用にわたり、基礎の中をのぞき込んでいました。そのうち子どもたちはひとつのスペースを大切にそうに拾い上げました。

後で聞くと、それはとてもいいことで、唯一残った自分の名前をついた大切な思い出だったのです。自分の存在のそのものを確かめるためのきっかけを、そこに求めていたのです。今こそ、そんな視点を多くの方々と共に有しなければと思うのです。

私たちができることは、ひとりひとりの被災者に寄り添った支援が、どれだけでもいいことです。今だからこそもっとかかとと将来を見据えて、地域主体の復興を支える実践が必要になってきています。



▲自分の存在を確かめる親子

環境が復旧したこともあり、オフィスの片付けから始まり、連絡を取り合い活動再開に向けて動き出しました。この間にも個々のメンバーには全国から物資の提供や支援の申し出を受けていました。

NPO支援オフィスで 震災復興支援

今回の震災の特徴は、地震よりも津波による被災が大きく、全壊又は半壊した地域はそのほとんどが津波による被災でした。被災地域も広域に及び、被災者数も多く指定避難所だけでは足りず、被災を免れた自宅や親戚知人宅などへ避難する在宅避難が多いのが特徴でした。そのため避難所以外の在宅避難者への支援がなかなか進まないという課題を抱えていました。

活動再開にあたり石巻市の担当課との打合せで、オフィスの役割を自分の間、震災復興支援を行うことを確認し、指定管理業務の一部として行うことにしました。

市役所との打合せのなかでも、避難所ではなく在宅避難の人たちに支援物資が届いていないという状況が深刻で、行政だけでは届けにくい地域への配布活動を要請されたこともあり、在宅避難者への支援物資の配布を当初の支援活動として行うことにしました。活動拠点として、オフィスと石巻市役所1Fの休業中の飲食店スペースを借りて、災害支援物資の保管庫として活用することも決ま

につづけることを基盤とすることを確認しました。そして、その基盤の上にならしたちのできる「七つの復興プロジェクト」を立ち上げることにしました。

- ①さと・あこ教育復興プロジェクト
- ②被災地の高校生と世界の高校生を繋ぐe-Net、プロジェクト
- ③仮設じゃない生物多様性「復興住宅」プロジェクト
- ④被災地の廃材と地域の素材を混合した流域バレット・プロジェクト
- ⑤命の田んぼ復元・プロジェクト
- ⑥心と身体への癒し・励まし合うプロジェクト

東北再生のための生物多様性を活用した東北サイコウ銀行プロジェクト

さと・あこ復興 プロジェクトを中心に

宮城県大崎市の小学生達が、地震や津波で大きな被害を受けた地域の子供達を支援しようと、「大崎あつまれ小学生ボランティアの会」を結成しました。会の発起人になったのは大崎市田尻小学校の青柳さとさんと山村亜子さん。二人は地震や津波のニュースを見て、「自分と同じくらいの子たちもたくさんいる。まだ寒いので、風邪をひかないかも心配」と思い立ち、両親や友達と一緒に勉強道具や衣類を集め始めました。自分たちでチラシを作り、自転車で近所の家庭に配りました。

りました。

支援物資の配布と仲介

それまで寄せられ保管していた支援物資と、配布日に併せて寄せられた支援物資を震災二週目の週末から四週連続で市内各所において都合七回配布することができました。総数で一万人位の被災者に、全国から寄せられた支援物資を渡すことができました。

配布活動には、支援物資を寄せてくれた全国のボランティアと地元ボランティア双方の協力をもらいながら実施しました。また、週末の大規模な配布活動とは別に、在宅避難者が多い地域に直接出向き配布する、グララの配布活動も随時行っていきます。

次の支援活動として、一般的な物資提供とは別に、個別的な支援の要請も多く寄せられており、それに対する対応も行うことにしました。具体的事例として、東松島市の被災した小学校の新学期児童へ図書券を送りたいという申し出には、地元の教育委員会を通しての配布の仲介を行いました。また、自転車の配布希望には、JR線の復旧見通しがたないなか地元高校生の通学の手段として配布を仲介することができました。このように地元自治体や各機関との連携をとれる立場を活かし、被災者への支援を行えるのがセンター



▲「さと・あこ」の支援物資の仕分け作業

田んぼなどを通じて、ニーズとマッチするよう被災地に届けています。私たちはさとさんと亜子さんの二人の名前をとって「さと・あこ復興プロジェクト」として全面的に支援することにしました。この中で、何百年とした文化と歴史を培ってきた田んぼをガラス片や、ヘドロ、塩などから再びこともたちが裸足で歩ける田んぼを復元するプロジェクトも始めました。詳しくは、ホームページをご覧ください。皆さまひとりひとりにできることに「協力」いただけることを願っています。

【連絡先】
NPO法人 田んぼ
〒984-0430
大崎市田尻大貫字荒屋敷二十九一
TEL&FAX: 0229-39-3212
E-mail: potambo@yahoo.co.jp

の強みでもあります。

五月以降の支援活動は、被災者を元気にするためのイベントを開催する予定です。また、今回の震災による被災者への支援活動は一年以上を超える長期的な覚悟で取り組む必要があるため、その担い手となる地域の



▲支援物資配布



大津波が直撃した 石巻の救援活動 NPO法人 いのまきNPOセンター 専務理事 木村 正樹

三月十一日に起きた東日本大震災では、石巻市・東松島市・女川町といしのみきNPOセンター(以下、センター)が活動するエリアすべてが被災するという、未曾有の災害となりました。特に石巻市では、旧市街地が水没し都市機能のすべてがマヒするという事態になりました。センターが指定管理を受けている「石巻市NPO支援オフィス(以下、オフィス)」は、日和山の頂にあるおかげで津波の被災はまぬがれましたが、周辺部の浸水と津波によるガレキのため、数日間確認に行くこともできませんでした。

センター役員・スタッフもそれぞれが自宅や勤務先で被災しており、震災当初は、各自の安否確認やなかには避難所での生活など、不自由な思いをしなから過しました。震災によるインフラの復旧は遅れ、電気・水道・都市ガスのみならず固定電話・携帯電話も繋がらず、通話やメールもできず、孤立した状態が一週間位続きました。センターの活動が再開できたのは、震災から十日過ぎた三月二十一日からでした。津波による浸水も引き、主要道路のガレキの撤去が進み、通信

NPOを支援する取組みが必要になってくるので、そのための準備を進めていくことが求められています。

【連絡先】
NPO法人
いのまきNPOセンター
〒984-0831
宮城県石巻市泉町二丁目一六十三
石巻市NPO支援オフィス内
TEL・FAX: 0225 (23) 0851
Mail: ino@i-port.ne.jp
URL: http://www.i-port.ne.jp/npof

小十郎震災復興 プロジェクト

白石市にある、旧地方卸売市場の建物を再活用して地元農家を中心とする農産品や加工品の直売所を運営するNPO法人小十郎まちづくりネットワーク。一被災者として何かできることはないか?という思いから「できることから」をキーワードに小十郎震災復興プロジェクトを立ち上げ、活動をつづけていま

地域住民にいち早く食料を

震災直後、県内各地でライフラインが止まり、連日生活物資を求めてスーパーなどに並び状態が続きました。白石市もそのような状況が続き、小十郎まちづくりネットワークが運営する直売所「小十郎の郷」は、本来四月からの本営業に向けての準備期間のため週末しか開店していませんでしたが、地域住民のみならず、少しでも早く多くの食品を届けたいと、商品集めに奔走。三月十七日〜二十日までの四日間、緊急オープンをして食料品の販売を行いました。地元農家の野菜はもちろん、白石ならではのうめや菓子類、卵、乳製品など、震災直後手に入りにくかった商品が並んだこともあり、多くの方が訪れ、たいへん喜んでくれました。

県南沿岸部に 支援物資を届ける

販売会と同時に、小十郎震災復興プロジェクトもスタート。直売所に募金箱を設置し連日義援金を募り、また来場者にチラシや声掛けなどをして支援物資を集めました。四日間でたくさんのお洋服などの支援物資が揃いました。



▲届付された衣類を仕分ける

めん、菓子類、鮭フレーク、しょうゆなどや、志村浩幸理事長の運営する養鶏会社からの卵、直売会で集めた衣類などの支援物資はトラック二台ほどになり、翌二十一日避難所に物資を届けること。

当時、県北の沿岸部は多くの報道がされ支援が徐々に広がりがつつあったなか、県南部の巨理町や山元町は被害あるにもかかわらず、あまり報道されていないこともあり支援がまだ行き届いていませんでした。小十郎まちづくりネットワークは県南白石市の団体でもあり、県南の山元町に支援物資を届けることに、受け入れ先を探し、それまで団体として繋がりはなかったものの、個人レベルで知人のいたNPO法人巨理山元まちおこし振興会にコンタクトを取り、山元町坂元中学校と真庭区民会館のふたつの避難所を紹介してもらいました。

坂元中学校には約四百人、真庭区



▲山元町に支援物資を届ける

民会館には約二百人の方が避難して、支援物資はたいへん喜ばれました。「ここには調理室があり、せっかくだいたいた野菜などで料理をしたいが、調味料がなくてできない」など、避難している方から直接要望をいろいろと聞くことができました。被災地に直接出向き、被災者の方たちと話をしたり、被災状況を確認したことで、今後自分たちが本当にやるべき復興支援は何なのかが見えてきました。そこで当初は物資援助やボランティア派遣など、さまざまなことを考えていましたが、そうしたことは専門家に任せ、今後被災地が復興していく中で必要になってくる経済的な支援を自分たちのできる範囲でしていくことに。具体的には、地域の方たちから寄付してもらった物資のチャリティーマーケットを行い、売上金を義援金にする。募金活動をつづけ義援金を直接被災者に届ける。義援金をどの地域にどんな

小十郎の郷 本格営業スタート

小十郎まちづくりネットワークが運営する直売所「小十郎の郷」は、四月二十九日より毎日営業が始まり、開店十日間はプレオープンイベントをおこない賑わいました。「私たちに出来ることは自粛モードを変えていくこと。地域を元気に笑顔にすること。地域経済を回していくこと。いろいろな支援や活動もしていきたいと思いますが、まずは笑顔でスタートしていきたいと思えます。」と理事の志村竜生さん。今後被災地の状況を見ながら、自分たちができる支援を長期で続けて行こうと考えています。

風に届けるのは現在協議をしています。

仙台の動き

プライベートなお洗たくサービス

仙台市若林区の避難所になっていく若林体育館でこんな呼びかけがありました。「女性の皆さん。洗濯物がありましたら、どうぞ遠慮なく、お預けください。私たち女性が、家で洗濯をして三日後にお届けに来ます。」

これは、男女平等社会をめざして活動するNPO法人イコールネットとせんだい男女共同参画財団が協働で始めた女性限定の洗たく代行サービス「せんだいネット」の活動です。それは、ある避難所の女性から、避難所の外に干していた下着がなくなつたんだよね。みんな下着が手に入らないから...という相談を受けた女性が、下着だけ預かって家で洗濯してあげていることを知ったことから、始まりました。

避難所では、なかなか替えもままならず、ましてや下着を洗濯して干すこともはかれる日が続いています。そんな女性たちの悩みを察して、女性たちの活動が始まりました。

仙台市若林体育館には、四月二十六日現在、二八〇名弱の被災者が避難所生活を続けています。高さ一mちょよとのダンボールで囲いをしてある現状では、他人の視線を気にしながらの生活です。だからこそ、「声を上げず、堪えている女性たちを助けるのは、私たち女性じゃない」と宗片恵美子さんは動き出しました。

初日の四月十七日は、せんだいネットが準備した洗濯バック二個。それを洗濯して本人に渡した十九日には、この仕組みの説明と大勢の利用者に対応するためのルール作りをして、二回目の預かり日二十三日の朝を迎えました。この日は、協力団体のみやぎ親子読書をすすめる会から二人が参加し、洗濯物の受付をしています。



▲洗たくバック



▲受付

還着の様子を見ながら近づいていく女性たちは、皆さん遠慮がち。せんだいネットは「お子さんやご家族のものと一緒に入れてももちろんOK!でもわたしたちはあなた自身のためこのボランティアを使ってほしい!どうぞ安心して下着もおまかせください。」という思いです。気兼ねなく、

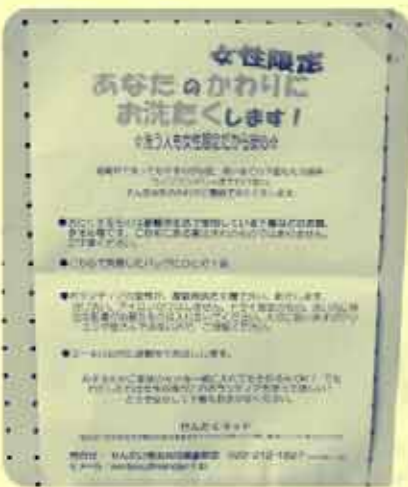


▲打ち合わせ

安心して預けるにはもう少しかかるかもしれない。それでも十六人分の洗たくものが集まりました。

洗濯するのは、仙台市内の女性たち。ボランティアの募集を知って、小さい子どもがいても、洗濯はできます。「働いていますが、エル・ソーラ仙台は近いので。」など自分ができることをして、復興支援をしたいという気持ちで応募しています。

現在は、若林体育館と七郷市民センターの避難所ですが、これから増えていきます。復興には長い時間がかかり、二、三週間もかかってきます。「せんだいネット」の目指すところは、被災した個々の女性たちと支援に関わりたい女性との出会い、そして表に出にくい女性の声をくみとり、復興や支援の担い手に女性が参画できるようにすることです。



▲ポスター

みやぎ NPO プラザ

みやぎNPOプラザ 指定管理第3期スタート!

～今まで同様、よろしくお祈りします～

レストラン「オーブ」の風オープン!

5月18日(水)、みやぎNPOプラザにレストラン「オーブの風」がオープンします。運営するのはNPO法人シャロームの会。「人はそのまま素晴らしい存在」という理念の下、精神障がい者の自立・就労支援を行っています。「オーブの風」は実践に近い就労訓練の場となり、「メンバー」と呼ばれる心に障がいを持った方々が、スタッフのサポートを受けながら、調理や接客を行います。メンバーの皆さんは「元気に接客したい」「もう一度来たい」と思ってもらえるようなサービスをしたい」とやる気満々です。



料理は「お母さんが家族に作るような食事」がモットー。減農薬の玄米や野菜を使用するなど安心・安全にこだわり、手づくりで栄養バランスの取れたメニューを提供します。「お客様に、おいしくてホッとできる食事と、リラックスできる空間をお届けします。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください」と店長の牛澤さん。

ゆくゆくは地域の皆さんと精神障がい者が交流できる場にしたいと、催しを計画中です。

新緑の季節、ゆったりした時間を過ごしに、足を運んでみませんか?

☆営業時間 ☆11:30～16:00
(ランチタイム11:30～14:00 カフェタイム14:00～16:00)
☆定休日 ☆日・月・祝日
☆メニュー ☆
日替りランチ 650円
キーマカレーセット
(サラダ、デザート付)650円
本日のスイーツプレート(ドリンク付)500円
ドリンク 250円
※日替りランチ、カレーともにテイクアウト可



問合せ先

住所: 仙台市若林区新寺2丁目3-1 長屋ビル402
TEL: 080-5731-4345 FAX: 022-293-4346
URL: <http://www.sharome.net/npo/>
E-mail: sharoomedesu@mountain.ocn.ne.jp

みやぎNPOプラザは今年開館10周年を迎えます。そしてこの4月から指定管理第3期がスタートし、ひきつづき(特活)社の伝言板ゆるるが管理運営を担うことになりました。多くの市民の皆様にご利用いただけるよう、またNPOの活動が少しでも活発になるよう運営してまいりますので、今まで以上にどうぞよろしくお願いいたします。



▲私たちのスタッフが笑顔です。

今回の震災の影響で時間の短縮をしていた開館時間も、4月26日より通常通り21時30分までに戻りました。講座なども今後順次開催していく予定です。今年は10周年イベントなども行う予定ですので、皆様どうぞご期待ください。

被災した NPOのための なんでも相談

東日本大震災からまもなく2ヶ月。活動の再開に向けて取り組み始めたNPOがふえています。大津波に見舞われた被災地や地震で倒壊の被害を受けたNPOはもちろん、直接地震の被害を受けていない団体も、活動への様々な影響や二次被害が表面化してきています。

そこで、「被災したNPOのためのなんでも相談」を4月から開設し、今後のNPO運営や、経済的な二次被害NPOに対し、社会保険労務士と中小企業診断士の2名が、無料で相談にのりました。「活動の拠点が浸水し、津波で利用者は激減。今後どうしていけばよいのか」というような深刻な悩みを、時間をかけてじっくりカウンセリングし、適切なアドバイスをおくりました。5月も開催予定です。概要は下記の通りです。

相談対応日	5月12日、19日、26日(全て木曜日)13:00～17:00
場所	みやぎNPOプラザ
相談対応者	◎猪狩慎一さん(社会保険労務士) ◎波多野卓司さん(経営コンサルティング波多野事務所代表)
定員	各相談とも2～3団体(先着順)
申込方法	要予約。所定の申込用紙をFAX・メール等でみやぎNPOプラザまで送付。電話での申し込みも受け付けます。

宮城県のNPO法人数 587団体

(2011年4月10日 現在数)

※解散、所轄庁変更、認証取消、撤回した団体を除く。

■NPO法人の設立を新しく申請した団体 (2011年 3月11日～4月10日申請分)

団体名	所在地	活動内容	認証日
おひさまキッズ	仙台市宮城野区	託児事業や子育てイベント等の子育て支援活動	3/25
サン・エー	栗原市	障害者の生活支援活動や相談活動	3/31
七ツ森大和会	大和町	介護保険制度に関する介護事業	4/1

■NPO法人に認証された団体 (2011年 3月11日～4月10日まで)

団体名	所在地	活動内容	認証日
糖質制限食と断食の会	仙台市東区	糖尿病と糖質制限食に関する情報提供等の活動	3/30

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。
みやぎNPO情報ネット
<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL: 022-256-0505 FAX: 022-256-0533
E-mail: npo@miyagi-npo.gr.jp

津波災害ボランティアセンターを開設

【問合せ】
せんだい男女共同参画財団
TEL: 022-212-1627
エルソーラ仙台
TEL: 022-268-8044
※電話は午後9時00分～17:00
E-mail: [sentaku@sendai-il.jp](mailto:sentak@sendai-il.jp)

仙台市社会福祉協議会では、青葉区、太白区及び泉区のボランティア要請が少なくなってきた一方、宮城野区や若林区では津波被害に関するボランティア要請が増えてきたことから、5月11日(土)に津波被害によるボランティアの要請(泥井)・自宅の片づけなどは、津波災害ボランティアセンターへ、それ以外のボランティアの要請は、各区ボランティアセンターに連絡するように変わりました。

津波災害ボランティアセンターは、北部と南部の二ヶ所にあり、ボランティア活動希望者の受付を行っています。連絡先は、次の通りです。

「仙台市北部津波災害ボランティアセンター」

場所: 元気フィールド仙台・宮城野体育館
(仙台市宮城野区新田東四一)

◎ボランティアを頼みたい方
TEL: 022-231-1320

◎ボランティアをしたい方
TEL: 022-231-1326

「仙台市南部津波災害ボランティアセンター」

場所: 若林区伊在字前通二〇一
*仮設のプレハブ

◎ボランティアを頼みたい方
TEL: 080-5949-8740 / 022-282-0075

TEL: 022-282-0069 / 022-285-4311

◎ボランティアをしたい方
TEL: 022(390)4105

開設期間は五月三十一日(火)までの予定です。

なお、津波災害ボランティアセンターでは、現在、仙台市民自らの力によって復興を図ろうと、仙台市民のボランティア(自宅から通えるボランティア)に限って募集をしています。

宮城県災害ボランティアセンター 協働団体活動日誌の ブログを開設

宮城県災害ボランティアセンターは、宮城県自治会館二階にあり、市区町村災害ボランティアセンターの運営支援と情報提供を行う次の団体のための協働型組織として運営しています。

- ☆Snow Peak
 - ☆災害ボランティア活動支援プロジェクト会議
 - ☆シャパンプラットフォーム
 - ☆全国大学生協連
 - ☆全国社会福祉協議会(近畿・中国・四国(ロック))
 - ☆せんだい・みやぎNPOセンター
 - ☆東京都社会福祉協議会(NC)
 - ☆日赤宮城県支部
 - ☆防災科学技術研究所
 - ☆宮城県
 - ☆宮城県社会福祉協議会
 - ☆みやぎ災害救援ボランティアセンター
 - ☆みやぎ生協
 - ☆社の伝言板ゆるる
 - ☆山形県社会福祉協議会
 - ☆連合宮城
- 毎日、十八時からミーティングが開かれ、各団体からその日の活動報告と、これからの情報提供があり、連携や調整につなげていきます。

そういった活動の様子を伝えるブログ「協働団体活動日誌」ができました。現在の宮城県内の各災害ボランティアセンターの募集情報や活動内容などが見れる宮城県災害ボランティアセンターのホームページからサイトに入れます。是非、協働団体の活動と共に宮城県の災害ボランティアの動きもご覧下さい。

なお、このセンターでは、安否確認や救援物資の受け付け・調整については行っておりません。ボランティアの希望者は各市や町の災害ボランティアセンターが直接受け付けています。場所によって受け入れ態勢が異なりますので、予め、お問い合わせください。

【連絡先】

宮城県災害ボランティアセンター
仙台市青葉区上杉二丁目二番三号
(宮城県自治会館二階会議室)
TEL: 022-266-3952
TEL: 080-5949-7491
TEL: 080-5949-7492
電話対応: 午前八時半～午後七時
URL: <http://msv3151.c-bosai.jp/index.php>
協働団体活動日誌
URL: <http://kizuna-dantai311.ecom-plat.jp/index.php?gid=10007>

傾聴とは、相手の話を否定しないで、ありのままに受け止め、共感的に聴くこと。カウンセリングでの基本姿勢でもあり、傾聴によって悩みや不安を軽減することにも繋がります。今回、「こころを聴く」をテーマに講座を開催します。
※開催予定ではありませんが、中止になる場合もあります。事前に連絡先まで、お問合せください。

- 日 時:5月14日(土) 10:00~12:00
- 場 所:仙台市シルバーセンター7階 第1研修室
- 講 師:森田健一氏
(東北工業大学ウェルネスセンター講師、臨床心理士)
- 参加費:無料
- 申込方法:不要。直接会場にお越しください
- 主 催:仙台傾聴の会
- 連絡先:(担当:森山)
TEL/FAX:022-343-9705
携帯電話:090-6253-5640

5/20 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時:5月20日(金) 13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

5/27 テーブルゲームであそぼう3

ドイツ、フランス、日本のボードゲームやカードゲームで遊びませんか?こどもから大人まで、一緒になって楽しめます。ご家族や友達同士で、ぜひどうぞ。

- 日 時:5月22日(日) 13:00~16:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第3会議室
- 主 催:こりれいず(もうひとつのこどもとおとなリレーションズ)
- 連絡先:TEL:070-5470-6355(代表:須藤)
E-mail:korireizu@willcom.com

5/24 目の不自由な方と家族の交流会 「台原森林公園散策」

5月の交流会は、台原森林公園の新緑の中をウォーキングして、心身のリフレッシュをしたいと思えます。
また、仙台市中途視覚障害者支援センターでは、視覚に障害のある方の地域生活に関する「よるず相談所」として、今回の大震災に関連した生活の相談にも引き続き応じております。ご質問・ご相談等ございましたらどうぞご利用ください。

- 日 時:5月24日(火) 10:30~13:00
- 集合場所:地下鉄台原駅 改札前
- 定 員:25名
- 参加費:無料
- 持 ち 物:お弁当、飲み物、敷物
- 申込方法:下記連絡先までご連絡ください
- 申込締切:5月18日(水)
- 主 催:(特活)アイサポート仙台

- 連絡先:仙台市中途視覚障害者支援センター
HPあり 〒984-0073 仙台市若林区荒町215 荒町中央ビル1F
TEL:022-212-1131 FAX:022-212-1136
E-mail:sisien@sky.plala.or.jp
URL:http://www15.plala.or.jp/isupport/

5/24 女性のエンパワメントシリーズ 「ガールスカフェ」Vol.2

「震災」という大きなストレスが加わり、不安でいっぱいあなたに贈るカフェ。ゲストの話聞いてちょっとほっとしたり、同じ立場の仲間とお話したり...これからのヒントにしてみませんか?お茶を飲みながら、ゆる〜とした気持ちでどうぞ。

- 日 時:5月24日(火) 13:30~15:00
- 場 所:エル・ソーラ仙台 研修室2
- ゲ ス ト:木村さち子氏(キャリアアドバイザー)
- 対 象:働きづらさや生きづらさを抱えている15~40歳未満のシングル女性
※お子さんやパートナーの方がいる方は対象となりません
- 定 員:20名(申込多数の場合は抽選)
- 参加費:500円(お茶代含む)
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください
- 申込締切:5月23日(月)
- 主 催:(財)せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:エル・ソーラ仙台
HPあり TEL:022-268-8044 FAX:022-268-8045
URL:http://www.sendai-l.jp

5/31 ▶ 6/12 街喫茶をい senbi展

- 日 時:5月31日(火)~6月12日(日) 11:00~18:30
※最終日は16:00まで、6月6日は休廊
- 場 所:gallery senbi
(仙台市青葉区春日町3-9 東北テレメディアビル2階)
- 参加費:無料
- 主 催:(特活)黒川こころの応援団
- 連絡先:街喫茶をい
HPあり 〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL/FAX:022-347-0028
PHS:070-5011-0028(小野田)
E-mail:info@m-kissa.com
URL:http://m-kissa.com

6/8 ▶ 8/2 NPOのための経営相談

事業計画を見直したい、何から手をつけていいかわからない...そんな時は外からの視点を取り入れてみませんか?経営コンサルタントが、マンツーマンでアドバイスします。

- 日 時:6月8日(水)、8月2日(火) 両日13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

今月の助成金情報

花王・コミュニティミュージアム・プログラム 震災特別募集

- 助成対象:被災された方を応援する文化・芸術分野の市民活動
- 対象団体:当該分野での活動実績がある団体
- 助成金額:1件当たり上限50万円(件数は20件程度)
- 助成期間:2011年8月1日~2012年3月31日までに実施する活動
※過去に助成を受けたことのある団体に限り、緊急の場合の開始繰上げが可能
- 募集締切:5月11日(水)~5月31日(火) 必着
- 連絡先:(特活)市民社会創造ファンド
「花王・コミュニティミュージアム・プログラム2011」事務局
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル267-B
TEL:03-3510-1221 FAX:03-3510-1222

第23回(2011年度) 地域福祉を支援する「わかば基金」

- 助成対象:
☆第1部門(支援金贈呈)
地域で活発な福祉活動をすすめ、この支援金でより活動の輪を広げたいというグループ
☆第2部門(リサイクルパソコン贈呈)
すでにパソコンを利用して福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで活動の充実を図れるグループ
- 対象団体:地域に根ざした福祉活動を展開しているグループ、NPO法人、NPO法人以外の法人は対象になりません
- 助成金額:①1グループにつき最高100万円(おおよそ10グループに贈呈予定)
②1グループにつき3台まで(総台50~100台を贈呈予定)
- 募集締切:5月31日(火) 必着
- 連絡先:NHK厚生文化事業団「わかば基金」係
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル
TEL:03-3476-5955
URL:http://www.npwo.or.jp/

市民国際交流事業補助金(平成23年度第2期)

- 助成対象:仙台市内又は国外において自主的に企画・実施する
①多文化共生 ②国際交流事業
③異文化理解 ④国際協力事業
※同一年度での補助金の交付は1団体1事業
- 対象団体:仙台市内を主たる活動場所とする非営利団体
- 助成金額:上限20万円(事業の規模により交付額が変わります)
- 助成期間:平成23年7月~平成24年3月に行われる事業
- 募集締切:5月31日(火)
- 連絡先:(財)仙台国際交流協会(SIRA)
〒980-0856 仙台市青葉区青葉山仙台国際センター内
TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485
E-mail:plan@sira.or.jp
URL:http://www.sira.or.jp/

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

- プログラム:東日本大震災で被災された方を支援するボラン

- ティア活動等全般
※被災地における活動だけでなく、全国の被災者の避難先、原子力発電所事故に伴う住民の避難先における活動も対象とします
- 対象団体:被災地をはじめ、全国で東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等
※任意のボランティアグループや団体等の場合、5名以上で構成されている団体であること
- 助成金額:活動期間によって異なります
1週間以内:10万円以内
1ヶ月未満:50万円以内
中長期(1ヶ月以上):300万円以内
- 助成期間:平成23年3月11日から平成25年3月31日まで行われる活動
- 募集締切:第2次:平成23年5月9日(月)~6月10日(金)
助成は7月初旬に決定
第3次:平成23年6月20日(月)~7月31日(日)
助成は9月初旬に決定
※第4次以降のスケジュールは2ヶ月に1回程度の間隔で助成を行います
- 連絡先:社会福祉法人 中央共同募金会 企画広報部(助成金担当)
TEL:03-3581-3846 FAX:03-3581-5755
E-mail:support@c.akaihane.or.jp
URL:http://akaihane.or.jp

日本財団ROADプロジェクト 東北地方太平洋沖地震 災害にかかる支援活動

- 助成対象:「東北地方太平洋沖地震」による被災者・被災地支援に関わる以下に当てはまる活動
・緊急性を有するもの
・被災者・被災地のニーズに基づくもの
・活動状況を広く社会に公開できるもの
- 対象団体:特定非営利活動法人やボランティア団体、その他の公益法人
- 助成金額:上限100万円(補助率100%)
- 助成期間:原則2012年3月31日まで実施される事業
- 募集締切:6月30日(木) 17:00
- 連絡先:日本財団 災害支援コールセンター
〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル
TEL:0120-65-6519 FAX:03-6229-5177
URL:http://www.nippon-foundation.or.jp/index.html

東日本大震災復旧復興支援「がんばれ! NPO」 PC1000寄贈プログラム

- 対象団体:東北地方太平洋沖地震で被災した、または被災地を支援している非営利団体
※OSおよびOfficeのライセンス認証、ドライバの更新などPCの設定ができること
- 寄贈PC:CPU1GHzクラス以上、メモリは必要最低512M以上のリユースノートPC(デスクトップが可能な場合もあります)
Microsoft Windows Xp Professional、Office2007 Personal(ワード2007、エクセル2007、アウトルック2007)、TrendMicro Virus Buster2011をインストールの上寄贈
- 寄贈台数:1団体につき原則として5台まで(第1期として1,000台の寄贈を予定)
- 申請期間:2011年5月1日(日)~2012年3月31日(予定)
- 連絡先:認定NPO法人 イーパーツ
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-55-8 ハレグレイス501
TEL:03-5481-7369 FAX:03-6805-2728
E-mail:info@eparts-jp.org
URL:http://www.eparts-jp.org

- 送付方法:撮影者名(ハンドルネーム掲載可)、撮影場所、撮影日時を明記の上、E-mailに画像データを添付して送付
送付先:風の時間編集部 佐藤正実
Email:info@sendai-city.org
- 主催:(特活)20世紀アーカイブ仙台
〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2(クリップビル内)
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
E-mail:npo20thcas@yahoo.co.jp

東日本大震災 被災地妊産婦さん支援事業「東京里帰りプロジェクト」

東京に避難を希望する全ての妊産婦さんが東京に避難し、安心して産前産後の生活を送れるよう、東京都助産師会を母体として始動したプロジェクトです。
助産師が、妊娠～出産～産褥の経過が正常であることを判断しながら、アットホームな雰囲気の中で母子のケアにあたります。

- 内容:★東京都内の助産院と一般家庭において、助産師とボランティア家庭が協力し、出産および産前産後の生活をお手伝いします
★助産院に一定期間滞在後は、下記のいずれかの形で都内に数ヶ月滞在。その間も助産師が定期的に訪問ケアを行います(サポートは震災後約1年間を予定)
1)一般協力家庭に移り、ホームステイ
2)行政・企業が準備する施設に入居
- 対象:産前産後の方
- 費用:東京都助産師会の基金や自治体からの補助金、ジョイセフからの寄付金等を充当予定
- 主催:一般社団法人 東京都助産師会
- 後援:一般社団法人 宮城県助産師会
みやぎ子育て・女性健康支援センター
- 連絡先:一般社団法人 東京都助産師会
TEL:080-3915-9923(10:00～16:00)
090-4611-0904(時間外)
一般社団法人 宮城県助産師会
TEL:022-297-1551(10:00～16:00)

震災 心のケアグループ ～グループで癒しのときを～

「心が折れそう」で孤独感に負けてしまいそうなとき。「自分がいけなかったからだ」と責めすぎてしまうとき。「自分には何もできない」と無力さに打ちのめされるとき。こんな時だからこそ、話し合える仲間が必要です。

- 日時:★宮城野区・若林区
毎週水曜日 1)14:00～15:00 2)16:00～17:00
場所:宮城野区内のファミリーレストラン

東日本大震災 みやぎのNPO 活動情報発信中

掲載情報を受け付けています

【情報送付先】
NPO法人 社の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区権同3-11-6 コーポラス島田86
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
E-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト「みやぎNPO情報ネット」では、宮城県の災害ボランティアセンターの情報や義援金情報、その他の震災に関するボランティア募集などの情報を掲載しています。
また、ブログ「東日本大震災 みやぎのNPO活動情報」を立ち上げ、県内のNPOの活動やNPOへの支援情報などを随時発信。もちろん、団体ブログ「ゆるプロ」でも日々情報を更新していますので、ぜひご活用ください。

みやぎNPO情報ネット <http://www.miyagi-npo.gr.jp>

ブログ「東日本大震災 みやぎのNPO活動情報」<http://blog.canpan.info/miyaginpo2011/>

社の伝言板ゆるるスタッフブログ「ゆるプロ」<http://blog.canpan.info/yururu>

- ★名取市
毎週月曜日 1)13:30～14:30 2)15:30～16:30
場所:名取市内のファミリーレストラン
※どちらか都合のよい時間においでください
※近日中午に多賀城市、塩竈市等でもスタート予定です
★個別カウンセリングも行っています
震災の被害に遭われた方を最優先に行っています
参加費:3,000円

- 参加費:無料(レストランでのドリンク等料金は別途必要)
- 定員:各回10名(要事前問い合わせ)
- 主催:はあとランド
- 連絡先:〒981-3622 黒川郡大和町もみじヶ丘2-38-9
HPあり TEL:022-348-8262
携帯:080-5225-7532(担当:佐藤)
E-mail:nijipapa21@mail.goo.ne.jp
URL:<http://plaza.rakuten.co.jp/heartland2389/>

東日本大震災「こころのサポートルーム」

復興支援活動のサポート拠点となっている仙台市市民活動サポートセンターにおいて、被災者および救済支援者のこころのサポートを行っています。面談をご希望の方は下記電話での予約も可能。そのまま電話での相談にも受け付けます。
※秘密は厳守いたします。

- 場所:仙台市市民活動サポートセンター7階
- 時間:木・金・土曜日 10:00～16:00
- 参加費:無料
- 主催:(特活)仙台交流分析協会
- 連絡先:こころのサポートルーム
TEL:022-265-0441

「カウンセリングスペース こころの社」

今回の震災を受け、日ごろ実践してきたカウンセリングの力を被災者の方の心の支援に生かそうと立ち上げた団体です。多岐分野で活動してきたメンタル・カウンセラーがお話しをお聞きます。共に泣き哀しみを共有し、お話の終わりの方では、少し笑いも共有しましょう!

- 日時:毎週土・日曜日 10:00～17:00
毎週月・木曜日 10:00～17:00
※相談者の人数・面談時間・カウンセラーの都合状況により調整する為、予約制になります
※要望があれば、避難場所に向かいの傾聴にも対応します
- 継続期間:今年9月末迄、又は1年間の期間限定で考えています
- 場所:仙台市市民活動センター5階 交流サロン
- 参加費:無料

- 主催:カウンセリングスペース こころの社
- 連絡先:TEL:090-7931-1129(徳島)、
HPあり 022-235-1804(兼FAX・留守電)
E-mail:mtokushima@ams.odn.ne.jp
URL:<http://kokoronomori.jimdo.com/>
※電話の受け付けは9:00～20:00になります

- 活動支援カウンセラーも募集しています
被災者(我々も含め)の生活再建には、長期間の支援が必要になります。少ないメンバーでは、十分な対応は不可能です。カウンセラーの皆さんのご協力をお願いします。

障がい者の皆さんへ 生活で困っていませんか? 何でもご相談ください。

今回の震災で困っている障がい者の皆さんを支援したいという全国の障がい者団体から支援を受け、活動を開始しました。困っていることがあれば、私たちのところまでご相談ください。また、困っている障がい者の方などをご存知の方は、こうした支援があることをお伝えください。

- 相談内容:物資が欲しい、介助が必要など、どんなことでも構いません
- 受付時間:電話は10:00～18:00、FAXは24時間
- 申込方法:TEL、FAXにてお問い合わせください
- 主催:被災地障がい者センターみやぎ
- 連絡先:〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1 (CILたすけっと気付)
TEL:022-746-8012 FAX:022-248-6016

被災したNPOのためのなんでも相談

東北地方太平洋沖地震後のNPO運営や、経済的な二次被害NPOに対し、社会保険労務士と中小企業診断士のカウンセラーが、無料で相談に応じます。

- 日時:5月12日、19日、26日(全て木曜日) 13:00～17:00
- 場所:みやぎNPOプラザ
- 定員:2～3団体(先着順) ※要予約
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

電話相談

女性の悩み災害時緊急ダイヤル

避難生活で抱えている困りごとや単身の女性や母子家庭の抱える生活上の不安、親や親族との突然の同居による介護や世話など、女性が抱えるさまざまな悩みの相談に女性スタッフが対応します。一人で悩まず、ぜひ相談してください。

- 相談電話番号:022-224-8702
- 相談日:月～土曜 9:00～15:30(日曜日、祝日を除く)
※終了時期については現在未定です
- 主催:(財)せんだい男女共同参画財団/仙台市

仙台いのちの電話

仙台いのちの電話は震災後、毎日24時間態勢でご相談をお受け

- しております。この度の東日本大震災に遭われた方も、つらい思いをひとりで抱え込まず、いのちの電話へどうぞお話しください。お電話お待ちしております。
- 相談電話番号:022-718-4343
- 相談日:毎日24時間
- 主催:(社福)仙台いのちの電話
- 連絡先:〒981-8691 日本郵便仙台北支店 私書箱26号
TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431

チャイルドライン

ヒミツは、絶対誰にももらさない。どんなことでも、いっしょに考える。イヤなら、切っていいよ。
チャイルドラインは、家電・公衆・ケータイ・PHS、どんな電話からもかけられるフリーダイヤルです。

- 相談電話番号:0120-99-7777
- 相談日:月～土 16:00～21:00
- 対象:18歳以下の子ども
- 主催:(特活)チャイルドラインみやぎ
- 連絡先:〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
HPあり TEL/FAX:022-279-7210
URL:<http://www2.ocn.ne.jp/~clmiyagi/>

認知症に関する相談

認知症の方への接し方、徘徊時の対策、上手に受診させるには…など、お困り事、お悩み事をご遠慮なくご相談ください。

- 相談電話番号:022-263-5091
- 相談日:毎日9:00～16:00
- 主催:公益社団法人認知症の人と家族の会 宮城県支部
- 連絡先:〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4
HPあり 宮城県社会福祉会館2階
TEL/FAX:022-263-5091
URL:<http://www.miyagisibu-alz.org/>

震災対策相談電話

マンションの復旧、復興、快適な居住環境の再確立に向けて、震災対応相談専用電話を開設しました。建物・設備・敷地の被害判定、安全確認は?被害克服に果たす管理組合の役割とは?復旧の手続きは?など、震災に関することは何でもご相談ください

- 相談電話番号:022-398-3021
- 相談日:毎日10:00～16:00
- 主催:一般社団法人 宮城県マンション管理士会
- 連絡先:〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央5-21-6-103
HPあり TEL:022-218-2003 FAX:022-373-5772
E-mail:miyagimk_jimukyoku@miyagimk.com
URL:<http://www.miyagimk.com/>

講座・イベント

平成23年度 傾聴講座第1回
自殺予防シリーズ
「こころを聴く こころに寄り添う聴き方」



information

4月28日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

(社)宮城県介護福祉士会 災害ボランティア (避難所の介護ボランティア)募集

安定した避難所の介護支援のため、避難所の介護ボランティアを募集します。

- 活動内容: 避難所の介護ボランティア
- 活動日時: 木、金、土曜の夜間
- 活動場所: 石巻、女川方面の避難所数か所
※協力者が増えれば、曜日箇所も随時広げる予定
- 参加条件: 1) 介護福祉士会が定めるボランティア登録カードを宮城県介護福祉士会に提出
2) 参加できる日時(基本平日)で三泊四日以上の日程が取れること
3) 13:00に自治会館208号室(県庁裏 仙台市青葉区上杉1-2-3)に集合。夜間介護を行い、翌日お昼頃に自治会館にて解散の日程が取れること(2泊3日も可)
※自治会館から現地への移動は介護福祉士会が行います
4) 介護経験が一年以上あること。(在宅、施設、介護福祉士の有無不問)
※県外の方については日本介護福祉士会の会員に限らせていただきます
- 持ち物: 1) 行程内の自分の食糧、水 2) 防寒対策
3) 自治会館までの集合離散の手段(当面は相談に応じます)
※ディスボグロブ等は県及び当会が用意します
- 申込方法: 所定の登録カードに記入の上、メール・FAXにて送信。
折り返しご連絡します
- 募集主体: 一般社団法人宮城県介護福祉士会
- 連絡先: 事務局(担当: 栗石・今川)
HPあり TEL: 022-398-5767 FAX: 022-399-6570
E-mail: m.kaisikai@gmail.com
URL: http://miyagi-accw.web6.jp/

看護職・介護職、送迎、被災地での生活支援ボランティア募集

(社)東北福祉会、宅老所・グループホーム全国ネットワークなどと一緒に、「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」を立ち上げました。一緒に活動してくれる介護スタッフや生活支援コーディネーターを募集しています。

- 募集職種と活動先:
 - 1) 介護職・看護職
介護施設や在宅介護サービス事業所など
 - 2) 生活支援コーディネーター
避難所や高齢者宅などへの訪問、地域サロンの実施、被災家屋の片づけなど
 - 3) 事務局コーディネーター
ニーズとボランティアの調整
 - 4) 送迎ボランティア
仙台-石巻、石巻市内、仙台-仙南の派遣ボランティアの移送
※運転業務経験者を歓迎。また、送迎で使う車両(ワンボックスカー)の協力をお願いします。
 - 5) 配食・調理ボランティア

国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」
6) 話し相手・安否確認、片付け、買い物代行など
在宅(高齢の一人暮らし・高齢者夫婦・障害者)

- 募集主体: 東北関東大震災・共同支援ネットワーク
- 連絡先: 国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」
HPあり (特活)全国コミュニティライフサポートセンター)
〒981-0936 仙台市青葉区千代田町1-13
TEL: 022-301-8820, FAX: 022-301-8821
携帯電話: 080-1651-6420
E-mail: kyoudounet@gmail.com
HP: http://www.cic-japan.com

宮城県復興支援ボランティア募集

- 活動内容: ★現地作業ボランティア
★被災地道路調査ボランティア
★車・燃料持参運転ボランティア
★自転車配送ボランティア、徒歩配送ボランティア
★生活物資・炊き出し物資・燃料提供ボランティア
★事務局スタッフ(電話対応、ボランティア受付、管理、総合事務作業等)
★ITスタッフ(パソコンデータ作業、ホームページ作成更新、ウェブデータ更新、インフラ整備、ソフトウェア整備、セキュリティ整備等)
- 活動期間: 1日~1ヶ月以上
- 応募資格: 1) 平成23年4月1日現在、満15歳以上(高校生以上)の方で心身共に健康な方
2) 上記ボランティア業務に理解があり、上記活動に関心のある方
- 待遇等: 1) 基本交通費・食事・宿泊、保険はボランティアの自己負担
※但し時間・期間により宿泊、食事応相談
2) 被災地までの交通手段、宿泊場所情報提供有
※各種応相談
- 募集人数: 50名(個人・団体)
- 申込方法: 名前、住所、電話番号(携帯可)、性別、生年月日、FAX・メールアドレス(お持ちの方)を明記の上、E-mail、FAX、郵便にて下記まで申込
※上記申込方法が出来ない方は、電話連絡にて確認下さい
- 募集主体: 宮城県大地震復興支援市民活動ネットワーク
- 連絡先: みやぎNPOプラザ内事務作業・第2倉庫
〒983-0851 仙台市宮城野区榎ヶ岡5番地
レターケースNo. 3気付(アクティブルーム☆伊達っこ委員会)
FAX: 022-268-4042(レターケースNo. 143気付)
一心太助・第1倉庫
〒981-3204 仙台市泉区寺岡1-19-20
TEL/FAX: 022-378-6869
携帯: 070-6458-1279(阿部)
090-7526-7826(門間)
※携帯は9:00~22:00受付、緊急時は時間指定なし
E-mail: mdsc.net@gmail.com(事務局用 データ集積用)

被災現場でのボランティア募集

これまでは、行政や自衛隊の支援が行き届かない民間の小さな避難所(個人宅)を見つけ、物資を届けることを行ってきましたが、被災現場での支援内容が変化し、多くの人的支援が必要になっています。
石巻-女川-南三陸-気仙沼-陸前高田方面の被災現場で、ボランティアを急募しています。

- 活動内容: ア) 泥(津波)の掻き出し掃除などの、体力仕事
イ) 泊まり込みでの炊き出し、ボランティアセンターの開設、子どもの勉強のお手伝い、地域の人たちとの交流、指圧・マッサージ、被災者のメンタル面での支援などの人を対象の支援
※7:30と19:30にミーティングがあるので、どちらからか参加していただくと活動に早く参加できます。
※暖房のない体育館にシュラフで寝泊まりする、下記現地本部まで自力で往復できるなど、ある程度タフでないとならない面もあります。内容と現状をご理解のうえ、お申し込みください。
- 活動場所: 石巻、女川、南三陸、気仙沼、陸前高田方面
活動の際は、RQ(レスキュー)市民災害救援センター東北現地本部(登米市東町米川字寺内31番地 旧錦淵小学校体育館内)に直接行っていただく事になります。
- 申込方法: タイトルに「佐々木豊志あてボランティア参加願い」と書いて以下のアドレスにお問い合わせください。
- 募集主体: RQ市民災害救援センター(日本エコツーリズムセンター内)
- 活動団体: NPO法人日本エコツーリズムセンター
くりこま高原自然学校
- 連絡先: RQ東北現地本部
HPあり E-mail: rqtome@gmail.com
URL: http://www.rq-center.net/

緊急支援物資配布のボランティア募集

- 認定NPO法人難民を助ける会は、緊急・難民支援や地雷被害者などの障害者支援、啓発活動などを行う国際NGOです。東北地方太平洋沖地震の被災現場でも物資提供などの支援活動を行っており、仙台事務所と一緒に活動してくれるスタッフを募集します。
- 活動内容: 物資配布→倉庫の物資の出入および整理
 - 活動期間: 1ヶ月(延長の可能性もあります)
倉庫にある物資の出入がある時(1日数時間でも可)
 - 応募条件: ・仙台事務所(下記連絡先参照)まで通勤可能な方
・被災者支援の趣旨を理解の上、復興に向けた活動に精力的に取り組んでいただける方
 - 募集人数: 20名
 - 応募方法: 市販の履歴書、またはHPの採用情報ページにある
身上書に記入の上、送付・提出
※書類選考に通過した方のみ連絡を差し上げます
 - 募集主体: 認定NPO法人 難民を助ける会
 - 連絡先: 仙台事務所
HPあり 〒980-0802 仙台市青葉区二日町6-5 オフィス二日町2階
TEL: 080-3497-7743
URL: http://www.aarjapan.gr.jp/

有給スタッフ

ありがとうございます

- 今月の新入会員・継続会員 (2011.4.15現在)敬称略
(正会員38名)
(賛助会員20名)
★栃木県 芳井六郎
- 情報会員78名)
★仙台市 一ノ瀬美枝子
木村さち子
齋藤ツメ
財団法人仙台国際交流協会
宮城県難民会

会員募集

会員種別	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

●郵便 口座番号 02250-0-43800
●振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、通信欄に会員の種別をご記入下さい)

震災関連案内

「3.11」市民が撮った震災記録Web

東日本大震災を風化することなく、「市民が記録した写真を後世に残す」ことを目的に、このWebサイトを製作しました。復興までの道の証として、微力ながらお役にたてれば幸いです。
ご賛同いただける方は、ご自身で撮影した写真をご提供ください。

- 送付写真: 仙台市内および県内市町村を撮影した3~5MB(L判~B5判)程度のサイズのもの
※携帯カメラで撮った画像も可
※復旧の妨げになる撮影は絶対にお止め下さい

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。
特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。
これからはNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!
■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます
※正会員以外は、総会での議決権がありません
(会員申込みの方は、通信欄に会員の種別をご記入下さい)

はじめてのNPO会計講座

NPOの会計担当になった方へ、日々の会計処理の仕方や帳簿の扱い方などを、NPO会計に詳しい税理士が教える講座です。



- 日 時：6月2日(木) 13:30~16:30
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：平野由紀子氏(税理士)
- 対 象：NPO・市民活動団体で会計に携わる方
- 定 員：20名
- 参 加 費：1,000円
- 持 ち 物：電卓、筆記用具
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・運営：(特活)杜の伝言板ゆるる

NPOマネジメント講座 助成金申請のポイント

さまざまな助成団体の審査員を務める講師が、助成金の基本や、読んだ人の心をつかむ申請書の書き方を伝授します。



- 日 時：5月26日(木) 14:00~16:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師：大久保朝江((特活)杜の伝言板ゆるる代表理事、みやぎNPOプラザ館長)
- 対 象：NPO・市民活動団体のメンバー・スタッフ等
- 定 員：20名
- 参 加 費：800円
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・運営 (特活)杜の伝言板ゆるる

杜の伝言板ゆるるからのお知らせ



(特活)杜の伝言板ゆるるでは、津波でパソコンが流出したり、地震のときにパソコンが落ちて壊れてしまった、というような、被災してパソコンを無くして困っているNPOの皆さんにパソコンを提供します。詳しくは下記までお問い合わせください。

お申込み
お問い合わせ

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
E-mail:npo@yururu.com

活動資金ご協力のお願ひ

杜の伝言板ゆるるは、地域の問題解決に取り組むNPOの運営支援及びボランティア活動の支援をしている団体です。

今回の東日本大震災において、たくさんのNPO・NGOがさまざまな救援活動に取り組んでいます。私たちはその活動を多くの県民の皆様へ伝え、更に多くのNPOが継続して活動し、一日でも早く各地が復興できるよう、県内のNPOに対してさまざまな支援をしていきます。ぜひ、私共の活動をご理解いただき、活動資金のご協力をお願い致します。

郵便振替
口座

口座番号 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる